

館内資料 展示コーナー

お勧め
したい本

県立図書館では毎月テーマを決めて資料の展示を行っています。9月から11月に展示した資料の中から、皆さまに是非読んで頂きたい本を紹介しします。
※展示リストはホームページからもご覧になれます。
※URL: <http://www.lib-shimane.jp>

9月テーマ 道・みち・路 に関する資料展

- 『**県別全国古街道事典 東日本編・西日本編**』 みわ 明 編 東京堂出版 2003年刊
東海道、甲州街道、中山道、日光街道、奥州街道の5街道や世界遺産の熊野古道をはじめ、全国に残る古街道を県別2冊に分け、その歴史と現状を紹介。
- 『**週刊日本の街道**』 講談社 2002～04年刊
はるか昔から、峠を越えて里を結んで続く日本の街道。全国の街道を地域ごとに100冊にまとめ、沿道の風土、歴史、文化、伝統等を多くのカラー写真で紹介したビジュアル雑誌。このうち石見銀山街道等15冊を展示。

10月テーマ 北前船資料展 (中国地区県立図書館共同展示)

- 『**海の総合商社 北前船**』 加藤貞仁/著 無明舎出版 2003年刊
北前船とはどんな船だったのか。江戸中期から明治30年代まで、日本海を航海し大阪と北海道を結んだ北前船の歴史を、海上交通や交易、和船の発達、船乗りたちの信仰など様々な面からひもといた1冊。
- 『**近世日本海運史の研究**』 上村雅洋/著 吉川弘文館 1994年刊
日本の近世海運について、その経済と経営に視点を置いた研究書。近世社会の経済に近世の海運が果たした役割の重要性を浮き彫りにする。石見国銀山領の城米輸送についての論述を含む。

11月テーマ 教科書の歴史

- 『**図説教科書の歴史**』 海後宗臣監修 日本図書センター 1996年刊
明治以前から昭和時代の教科書の歴史が写真により体系的に編集されており、過去の教科書のイメージがつかみやすい概要書。漢籍、国語、習字、算数、地理、歴史、道徳等、科目ごとに掲載。
- 『**小学国語読本 巻1～12 (昭和世代第四期国定教科書復刻版)**』 文部省編刊 秋元書房 復刻 1970年刊
対象の年代の人には懐かしい国定国語教科書(復刻版)。第一巻は「サイタ サイタ サクラ ガ サイタ」のサクラ読本(昭和8年)。第三巻は「国引き神話」掲載。
- 『**尋常小学算数 巻1 (国民学校期国定教科書)**』 文部省編刊 1935年刊
色刷りの挿絵や図を多く用い、「緑表紙」と呼ばれた画期的な算数教科書。

レファレンス事例紹介

Q 島根県の過去の気温や降水量などを知りたい

A 島根県の気象データについて調べるには、『島根県の農業気象』や『山陰の気象暦と潮汐』といった資料があります。『島根県の農業気象』には月報と年報があります。月報は一ヶ月ごとに発行されており、最近のデータや一日毎のデータを調べることができます。年報は一年間のデータをまとめているので、月ごとの平均のデータになります。
もっと昔のデータを調べるには『島根の気象百年』という資料もあり、明治26年から平成4年までの月平均のデータが一覧できます。また、松江地方気象台のホームページでも過去の気象データを公開しています。

●参考文献

『島根県の農業気象』(月報、年報) 島根県・松江地方気象台発行
『島根の気象百年』日本気象協会松江支部発行、1993年
『山陰の気象暦と潮汐』年刊 アクト・ウェザー発行
松江地方気象台ホームページ: <http://www.jma-net.go.jp/matsue/>

こんな問い合わせがありました

Q 島根県の雑煮の種類が知りたい

A 島根県は東西に長いので、地域によって食文化の違いがみられます。
「島根の雑煮の分布と変遷1～3」(『島根女子短期大学紀要26, 31, 32号』掲載)では、聞き取り調査をもとに、島根県下の6つの雑煮圏を明らかにしています。出雲部は小豆、海苔、海苔・小豆混在圏、県中央部は5種の材料を載せた五色圏、県の西部一帯は黒豆圏、隠岐島は椎茸圏、この他に豆腐、鮎、貝、野菜などを具材とする例が紹介されています。
また、この資料の他に、島根県全体の食文化をまとめた『聞き書き 島根の食事』なども参考にできます。

●参考資料

『島根女子短期大学紀要』26,31,32号
島根県立女子短期大学刊 1988～1994
『聞き書き 島根の食事』(日本の食生活全集32)
農山漁村文化協会刊 1991